



園だより

文京区立第一幼稚園
令和元年度3月号

URL <http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dai1-kg/>

伸びようとする思いを受け止めて

園長 田村 秀子

沈丁花のつぼみがほころび、よい香りが漂うようになりました。第一幼稚園には紅白の梅やたくさんの沈丁花、早咲きのサクラなどが植えられ、幼児が様々な感覚を通して季節の変化を感じることができる環境です。私がイチゴに水やりをしていると「こっちにもお花、咲いてるよ」と教えてくれる子がいました。行ってみると、ピンクのヒヤシンスが咲いています。「本当だ。きれいだね」と水をやると、「何か喜んでみたい」と素敵な一言が。「あ、木の上にも咲いてる!」と気づき、「サクランボって書いてある」と樹木の表示を読む子もいました。樹木の表示は大分古くなりましたが、年長組が皆へのプレゼントとして作成してくれました。

新型ウィルスの流行が心配な状況ですが、この修了前、進級前の時期の子供たちの成長には目をみはるものがあります。日々、様々な工夫をしながら、一日一日を大切に過ごしたいと思います。

保育室や廊下には、園児の手作りのお雛様が飾られました。一斉活動で取り組んだ学年、興味をもった子からコーナーで作り始めた学年と、取り組み方は様々ですが、布や千代紙、金銀の厚紙、毛糸、紙粘土などを使って、個性あふれるお雛様が出来上がりました。年長児が苦労していたのは、髪の毛や冠、ぼんぼり作りなどです。「何だかうまくいかないなあ。どうやるの?」と友達に聞いたり、「ちょっと大きすぎるから切ろう」などと試行錯誤しながら、一生懸命に取り組み、素敵なお雛様が出来上がりました。年中組や年少組のお雛様もかわいくて、表情豊かです。なぜか作った本人に似ています。今を精一杯生きている子供たちの、伸びようとする思いが伝わってくるようです。

さて、今年度の保護者による園評価では、初めて無記名のマークシートを使用しました。集計したところ、どの項目とも平均が3.4~3.9でした。ほとんどの方が「4. そう思う」か「3. ややそう思う」に〇をつけてくださっており、子供たちの成長を実感したり、教育活動に満足したりしてくださっていることが分かり、嬉しく思いました。その中で平均が3.4と比較的評価が低かった項目が「本園は、特色ある園づくりに積極的に取り組んでいる」という項目です。園としては保護者や地域に園の特色やその取り組みを分かりやすく発信していく必要があると思いました。

第一幼稚園では直接体験・感動体験を通して心と体を育成する教育の推進と、家庭・地域と連携した教育の推進を特色としています。実のなる木やサツマイモ、ソラマメなどの野菜、ハーブ、色水遊びに使える花、チョウが好きな花などを計画的に植え、様々な出会いが生まれる環境をつくっています。また、保護者や地域の方のご協力による夏祭り、詩吟、すもう、図書館訪問、保育園や小中学校との交流など、様々な保護者・地域の方と出会い、遊びに生かしていく機会をつくっています。今後は特色を「運動遊び」「自然体験」「日本の文化に触れる体験」と分かりやすく表記し、様子を伝えていくことにしました。

幼児期にこそ、答えが決まっている学習ではなく、互いの思いや考えを伝え合い、認め合い、何も無いところから創り出す体験を大切に、心と体のたくましさや創造性を育てたいと思います。子供たちがこれからも笑顔で、自信をもって、力強く歩いていくことを願っています。

保護者・地域の皆様には、今年度も様々なご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。